



Ambassade de la République Togolaise au Japon// トーゴ共和国大使館

N°002 – Nov/Déc 2011 en français et japonais//2011 年 11-12 月 フランス語及び日本語

## EDITORIAL

### 論説

## 目次

### SOMMAIRE

Editorial (suite).....P2  
論説.....P2

A la découverte  
du Togo.....P3  
トーゴを知る.....P3

Le Togo à travers  
Ses différentes  
Institutions.....P4  
トーゴの様々な機関...P4

Réponses à vos  
questions.....P4  
質問&回答.....P4

Photo du mois.....P4  
今月の写真.....P4

©ambatogojapon



## FAIRE DECOUVRIR LE TOGO AU JAPONAIS PAR LES JAPONAIS

Depuis son ouverture, l'un des efforts sans cesse déployé par l'Ambassade du Togo au Japon est de faire connaître au mieux le Togo au Japonais.

S'il est vrai que l'Ambassade constitue une source inépuisable et la voie la plus autorisée en la matière, il n'en demeure pas moins que la stratégie de faire présenter le pays sur la base d'expériences faites par des personnages neutres notamment de nationalités étrangères est de nature à offrir une meilleur appréciation des réalités décrites.

Aussi, à l'Ambassade du Togo au Japon, le choix a été fait de donner, à travers des éditions spéciales périodiques, la parole à des japonais qui ont eu la chance de visiter le Togo, afin de que ceux-ci partagent avec leur compatriote, les expériences qu'ils ont vécues.

Il s'agit pour l'Ambassade, dans la logique de sa mission d'information, de faire découvrir le Togo aux japonais par le biais d'autres japonais.

A cet effet, le présent numéro sera consacré à l'expérience de Mlle Yuka AOMOTO de l'Université de Rikkyô au sein de l'ONG dénommé Jeunes Volontaires pour l'Environnement (JVE).

**A.D.AKLESSO BODJONA**  
*Chargé d'Affaires a.i.*  
*Ambassade du Togo au Japon*



## トーゴ、環境 NGO 活動記

今年 2011 年 4 月から 10 月末までの 7 ヶ月間、学生 NPO 団体 AIESEC を通して、西アフリカのトーゴの環境 NGO, JVE international にてインターンシップを行っている立教大学 4 年の青本と申します。(JVE URL : <http://www.ong-jve.org/>, AIESEC URL : <http://www.aiesec.jp/>)



首都ロメ郊外で開かれた General Meeting にて

幸運なことに、今回この場をお借りして、主に私のインターンシップの活動に関してお話させていただけることになりました。この活動記から、トーゴについて少しでも関心を持っていただけると幸いです。

それではまず、私のインターンシップ先の JVE (JEUNES VOLONTAIRES POUR L'ENVIRONNEMENT) についての紹介を。

JVE は、コミュニティで起きている環境、開発に関する問題解決へのアプローチを目的として、2001 年にトーゴ人の学生を中心として設立された環境 NGO です。今日までのわずか 10 年の間に西アフリカを中心とする世界 18 カ国、トーゴ国内でも 42 の支部を抱えるトーゴ最大規模の国際環境 NGO であると言えます。

JVE では、気候変動問題、水問題、電力問題、環境教育、トーゴ-ベナン間ダム問題のプロジェクトがあり、現在ロメの国際本部では私を含め 30 名程が活動を行っています。

そして今回は、私がトーゴに来て立ち上げた、環境教育プロジェクト内の環境美化・マナー改善プログラムに関してご紹介させていただきます。

## 日本人によるトーゴのご紹介

駐日トーゴ共和国大使館の開設以来、私どもがたえまなく取り組んできたことの一つが、日本の皆様にトーゴについて知っていただけるように努力することです。

大使館はその国についての数多くの公式情報を提供する場ですが、中立的立場におられる外国人の経験に基づいた、トーゴの現状についての記述や感想もご紹介したいと思います。

また駐日トーゴ共和国大使館は、トーゴを訪れる機会を得た日本人のご経験について、同国の皆様にお話いただくことをお約束致しました。

当大使館と致しましては、日本人を通して他の日本人にトーゴについて知っていただくことは情報提供を行うという我々の任務に適っていると考えております。

そこで今回は、立教大学の青本有加さんの「Jeunes Volontaires pour l'Environnement」(JVE) という NGO での体験談をご紹介します。

トーゴ共和国大使館 臨時代理大使  
A. D. アクレソ・ボジョナ



## トーゴでの体験談 (続き)



私のオフィス前の様子

その名も Change Action of Trash program (通称 CAT)。

Mission は「To make common sense that “trash is put in trash box.”」、「ゴミはゴミ箱に」という常識の構築です。

首都ロメ市内の多くの道路はまだ舗装がされていませんが、現在多くメイン道路にて、大規模な道路建設が行われ、街の整備が正に着々と進んでいます。

しかし、その道端や学校の教室前等いたる公共の場で数多くのポイ捨てが見受けられ、道に多く放し飼いされている多くの鶏やヤギ、犬がこのゴミをついばんでいます。

現実問題、多くの NGO が環境問題への活動を行っている今も尚、トーゴの人々の環境への関心、配慮は、残念ながら皆無に等しいのが現状なのです。

身近だからこそ意識しづらい大きな問題。

私は、この「ポイ捨て」という小さな行動が起因する、身近な環境から私達人体の影響まで波及しかねないこの問題に、人々が意識を少しでも向け、環境問題を身近なものとして捉えてもらいたいと、新たな常識の構築のためにこのプログラムを 6 月末に NGO 内で立ち上げました。

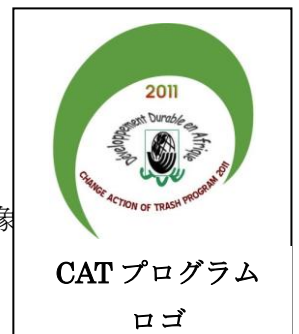
そしてプログラムを作成するにあたって、ポイ捨ての意識調査を主にプログラムの対象生 50 名にアンケートをとったところ、結果は以下のようなものでした。

- 100%の子供たち=毎日ポイ捨てをする、
- 55%の子供たち=毎日 6 回以上ポイ捨てする
- 80%の子供たち=ゴミ箱が身近に無いことがポイ捨て原因
- 14%の子供たち=ゴミを持ち帰るのが面倒なのがポイ捨て原因

つまり、アンケート回答者全員にとって、ポイ捨てが日常化しており、その大半がゴミ箱等場所がないために道端や校内等いたるところでポイ捨てをするというものだったのです。この結果等を受け、具体的な活動内容として以下の 3 段階を設定しました。

### 1、身近な環境問題への問題提起、気付きと学びの機会提供

ロメ市内小学校にて週に一回、4 回コースで地球環境問題や環境美化・マナー改善の主に知識会得と行動改善のためのクラスの開講。



作製したゴミ箱



## トーゴでの体験談 (続き)

### JVEで活動する女性陣



### 2、ゴミ箱設置による具体的な行動変化への促進

ポイ捨てされたピュアウォーターのパックを再利用したバック製作、販売を手がけているSTEJ (URL:www.stejtogo.org) と協働し、ピュアウォーターのパックを再利用したゴミ箱を作製、一校に3個ずつ寄付。

### 3、校内ポイ捨て防止のポスター作成、校内啓発活動実行

最終授業内で生徒自身の手で校内ポイ捨て防止を掲げるポスターをデザイン、作成を行い、そのポスターをクラス終了後、校内に掲示、校内全体の活動促進に繋げる。

この7月にロメ市内の2校にてクラスを既に実施し、9月末から10月末まで7校にて実施予定です。

7月に実際にクラスをつくり、子供たちと触れ合う中で、教える立場の私から感じたことは、言語や常識の違いの難しさもさながら、何よりも「主体性を意識させること、そこから行動の変化へ繋げることの難しさ」でした。

たとえ問題と頭で理解していても、道端に「ポイ捨てする」行動自体を変えなければ現状はなかなか変化しません。だからこそ、できるだけ多くの子供たちに伝え、共に考え、その子供たちからまたさらに行動の変化を波及してもらうために、現在活動を行っています。

トーゴの人々は本当に常に笑顔が絶えない、陽気で思いやりの心も持った人が多く、常日頃から同僚、友人はもちろんのこと、その他街の人々にも支えられ、本当に大好きな国です。現在、インターンシップも残り一カ月を切ったところですが、今後も引き続きトーゴについて見識を深め、帰国後も様々な形でトーゴという国を発信し、環境問題について考える機会をつくっていきたいと思います。

## Club des amis du Togo

去る11月5日、スティーブ・A・D・アクレソ・ボジョナ臨時代理大使は、関西国際交流団体協議会のご支援を得て、大阪での大規模な講演会「トーゴを知るーアフリカの笑顔ー」を開催致しました。

講演会終了後、「日本トーゴ友好協会」を設立するという話が出て参りました。既に多くの方がご関心を示してくださっています。あなたもトーゴの魅力を知って、お住まいの地域でこの国についてより知っていただけるようご協力いただけますでしょうか。

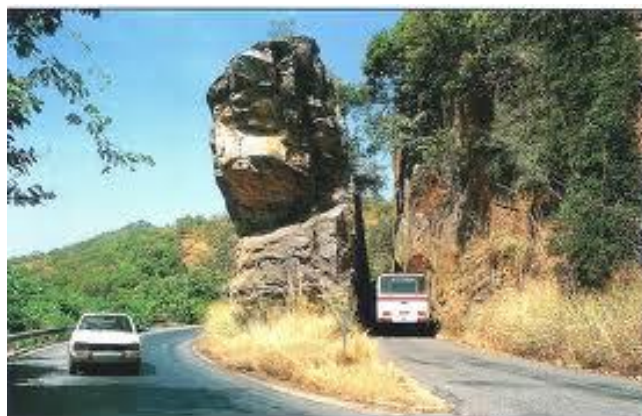
下記のリンクをご覧ください。

<http://togo-friends.com/>

<https://www.facebook.com/groups/171398652953636/>

日本トーゴ友好協会

## PHOTO DU MOIS



アレジョの断層

今月の写真

